

株式会社ピクルスコーポレーション西日本

産業

九州

贈呈理由

生産ラインの冷水利用工程に蓄熱式プロセス冷却システムを導入し、ピーク電力を削減



株式会社ピクルスコーポレーション西日本 佐賀工場



水蓄熱



生産プロセス

九州地区の拠点、佐賀工場でぶれない味と品質を提供

株式会社ピクルスコーポレーションは、サラダ感覚で食べられるあさづけや野菜たっぷりヘルシーな惣菜をおいしく、かつ、新鮮なまま消費者の食卓に届けている。それらの製品は契約栽培による安心・安全を確保した新鮮な国産野菜を原料に、保存料・合成着色料などは一切使用せずに生産されている。

グループ会社の株式会社ピクルスコーポレーション西日本は、2018年3月、九州の交通の要衝となる佐賀県鳥栖市の近くの三養基郡みやき町に佐賀工場を完成させ、九州地区のスーパーマーケットや生協向けにあさづけや惣菜などの生産を開始した。

同工場は衛生・品質管理の徹底を図り、お客さまに信頼される製品づくりを

目指して、「ぶれない味・ぶれない品質」を消費者に届けている。

製造工程に必要な冷水をヒートポンプで安定的に確保

製品の生産過程において、野菜の洗浄や調味液の製造に大量の冷水を使用するため、昼間のピーク電力の増加が懸念された。

そこで、蓄熱式プロセス冷却システム(空冷ヒートポンプ+冷水タンク)を導入し、夜間に蓄熱運転させることで、ピーク電力の削減および電力負荷の平準化を図った。

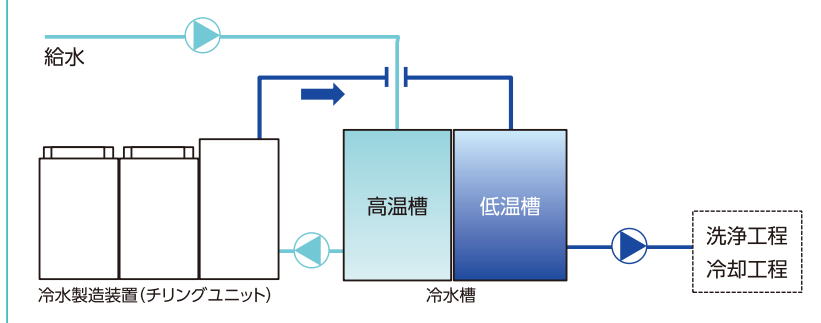
また、このシステムは冷水温度の安定を最優先とする制御を有しており、冷水タンク内の水位変動で冷水を安定供給できる。さらに生産ラインの増設時には、空冷ヒートポンプまたは冷水タンクを増設することで対応できる。

同工場は今後も、徹底した品質管理と効率的なエネルギー活用に積極的に取り組むとともに、多くの消費者の皆さまや販売先さまからの信頼と期待に応えつつ、野菜のおいしさから生まれる豊かな食文化を食卓に届け続ける。



空冷ヒートポンプと冷水タンク

システム図



ピーク電力削減効果

従来システム CR-8J(非蓄熱式) 消費電力:77.04kW

採用システム CR-30J(蓄熱式) 消費電力:61.58kW

従来システム

採用システム

-20%

[諸元]同一負荷条件によるシミュレーション比較

株式会社ピクルスコーポレーション西日本 佐賀工場

所在地:佐賀県三養基郡みやき町白壁243-1
設備設計:三浦工業株式会社
設備施工:三浦工業株式会社
竣工:2018年新設

設備概要

空冷ヒートポンプチラー 64.12kW×2台(三浦工業)
蓄熱槽30m³(冷水槽)